

荒町市民センター 事例報告



荒町市民センター
館長 笹川 圭子

地域の特性…

- 江戸時代からの御譜代町荒町と寺院・学校の町連坊で地元愛にあふれた住民が多い
- 令和5年4月に東北学院大学五橋キャンパスがオープン
- 地域活動が盛んである

人口

出典：仙台市ホームページ

		平成27年	令和元年	令和5年
人 口		26,212人	25,748人	26,000人
年 齢 %	0～14才	9.8	9.4	8.2
	15～65才	69.6	69.2	69.4
	65才～（75才～）	19.4（9.4）	21.3(10.1)	22.3(11.4)

地域の課題…

- 地域活動の担い手の高齢化
- 地域への関心の希薄さ
- 地域活動は盛んだが、知っている人と無関心な人の差が大きい
- 外からの関心を引きつける工夫

課題解決に向けたセンターの取り組み

- センター主催事業では、地域団体との連携や共催により地域活動を紹介する
→活動している人と参加者が顔見知り！
- 「市民センター」を市民に知らせ「地域団体」を市民センターが把握する
→連携や仲介しやすくなる

具体的な事業の取り組み～令和5年度の事業から～

様々な世代へ

子どもたちから高齢者、すべての世代へ



シルバーセミナー



キッズフェスタ



集合！こどもクラブ

様々な人へ

地域の方から学生、ボランティア、活動したい方



あおぞら体操教室



四季暦



センターフェスティバル



(1)地域住民本位の生涯学習拠点機能

「あらまち町民大学シルバーセミナー」や「地域で力を合わせて防犯！」
「防災講座—つながる力」など

防災講座「つながる力」

地域の連合町内会や女性防火クラブと情報交換をし、企画した。新しい住民が増えていることから、この地域の災害をイメージできるようにVR体験を取り入れ、地域の情報交換をした。



誰もが参加しやすい環境を整えるために

「伝統の仙台七夕飾りをつくろう」での取り組み

手話通訳のほか、UDトーク※やセンターで作成した七夕飾り制作動画を活用して、聴覚障がい者や高齢者へ配慮した取り組みを行った。

また、全15講座中11講座で土日、夜間の開催とし、誰もが参加しやすい環境を整えた。

※UDトーク 音声認識や字幕機能などを備えたコミュニケーション支援アプリ



スクリーンにUDトークを投影

(2)地域の交流・拠点機能

「荒町市民センター・児童館フェスティバル」や「集合！こどもクラブ」音楽会「over the music from荒町」など

音楽会「over the music from荒町」

～一人じゃできないから～

地域の方たちが出演し、音楽を楽しみながら交流する音楽会を開催した。市民スタッフによる企画運営で、子どもたちから若い世代、高齢者までが集まり、地域の持つ力に目を向ける機会となった。

また、地域への想いを話し合うことで個人や団体がつながる機会もなった。



出演団体による合同演奏

(3)地域のコミュニティづくり機能

「荒町四季暦」「あおぞら体操教室」「伝統の仙台七夕飾りをつくろう」
「普段着の街あるき」など

「普段着の街あるき」

連坊商工会青年部や連坊地区社会福祉協議会等と共催し、自然や歴史を訪ねる街歩きを実施した。実際に外を歩く会と、室内で動画を見ながら解説を聞く会と両方を設けたので、歩くことに自信のない方も、地域の魅力を再発見する機会となった。

また、多くの活動団体とも顔を合わせる機会になったので、参加者がその活動に関心を持つきっかけになった。

(4)地域のコーディネート機能

仙台荒町子まもりプロジェクト

地域の30団体が参加する子ども防犯の取り組みに4年前から参加している。プロジェクトの目的は子ども防犯だが、参加団体それぞれに地域の様々な課題への視点が生まれ、市民センターが参加していることで多方面への対応が出来ていると感じている。



実行委員会の様子



地域の金融機関3社の打合せ風景

(5)地域の情報ステーション機能

誰でも簡単にできる動画制作ワークショップin荒町

地域の魅力を発信する人材を増やそうと、令和4年度に実施した動画制作講座の修了者が助言者となって実施した。参加者同士の交流からそれぞれの活動が広がっていくきっかけとなった。

学習情報・地域情報の提供

子ども食堂やチャリティコンサートの案内等をセンターだよりやHP等で地域情報として発信したり、活動についての相談に対応している。

事業の特徴…

- ①地域団体との連携や協力で実施している
ものが多い

集合！こどもクラブ・・・荒町商店街、ジュニアリーダー
防災講座・・・・・・・・・・町内会、女性防火クラブ、
Wakka地域夢つなぐ実行委員会
動画制作ワークショップ・荒町エリア発信隊
普段着の街歩き・・・・・・・・連坊商興会、連坊オモシロ街歩き会等
地域で力を合わせて防犯・荒町子まもりプロジェクト
荒町四季暦・・・・・・・・・・荒町商店街、第一学院高等学校、
荒町公園愛護協力会等



事業は地域への入り口と捉え、
地域への関心に繋がり、交流を生むように！

②日頃、センターを利用しない層への働きかけを重視している

- ・ 地域懇談会やお茶っこサロンは荒町子まもりプロジェクト
実行委員会や近隣の企業合同の朝清掃の交流会の場で！
- ・ センター内や近所のマンションの集会室で行われる介護予防
サロンにお邪魔する



普段、センターに足を運ばない人たちの意見や要望をお聞きし、
市民センターについて説明する！

市民センター利用のすそ野を広げたい！

特色ある事業…

仙台荒町子まもりプロジェクト「地域で力を合わせて防犯！」

仙台荒町子まもりプロジェクトの一環として、
地域向けの防犯講座を開催した

仙台荒町子まもりプロジェクトとは—

荒町商店街振興組合、荒町児童館、荒町市民センターが中心となり、「子どもたちを真ん中に、ながら見守り365日。安心安全な街を地域連携の力で！」をテーマに、子どもの防犯を中心に地域の防犯意識を高めしていくプロジェクト。

地域の30の企業や団体、学校などが連携して、10月を「子まもり防犯月間」として、それぞれの強みを活かして活動している。

仙台荒町子まもりプロジェクトの紹介①

- **学校での取り組み**

荒町小学校・五橋中学校の子どもたちが防犯ポスターや標語コンクールに参加した。その作品を地域のお店や会社に掲示してもらうよう自分たちでお願いに歩いた。

東北学院大・青葉短大の学生は防犯パトロールや学祭で広報した。

- **金融機関の取り組み**

地域の金融機関3社が連携して小学4年生へ金融リテラシー・Web防犯授業をした。

- **企業の取り組み**

子まもりハロウィンへの参加や手提げ袋の作成、サイネージでの広報活動、活動レポートの作成等

仙台荒町子まもりプロジェクトの紹介②

- **地域や民間団体の取り組み**

商店街や児童館では、親子で防犯教室、子どもがお店に駆け込む訓練をした。若林区社会福祉協議会や五橋地域包括支援センターでは認知症講座や相談窓口を開設した。

- **子まもりハロウィン**

荒町の子ども達が、困った時にお店に駆け込み助けを求められるよう、地域との接点づくりのための子まもりハロウィン。

令和5年度は33のお店や企業、団体が参加した。荒町小学校の児童や幼児約500名が仮装して商店街を回り、その安全確保のためにボランティア子まもり隊約60名が街に立った。

仙台荒町子まもりプロジェクトの紹介③

- **市民センターとしての取り組み**

地域向けの防犯講座として、最近の犯罪の傾向や特殊詐欺について学んだ。

また、参加者同士が日常の心配事や気付いたことなど話し合い、地域の情報交換を行った。

小中学生の描いた防犯ポスターをロビーに展示し、直接プロジェクトに関わっていない人たちにも伝える機会とした。



仙台荒町子まもりプロジェクトの成果

- 子どもや高齢者、地域を大切に思い活動している団体や個人がたくさんいることを互いに認識した
- 地域の団体や企業などの横のつながりが生まれ、相互に協力し合うなど、地域貢献活動につながった
- 防犯だけでなく、高齢者の見守りなど、地域に対する関心が高まった



ハロウィン子まもり隊

改めて…

荒町市民センターの役割とは

1. 市民センターの事業で地域に働きかける
2. 事業等を通して地域の活動を広め、その理解者や活動する人を増やす
3. 市民センターの役割や出来ることを知らせて、それぞれの活動に活用してもらう
4. 持ち込まれる企画や地域の活動に寄り添う
5. 地域の活動とセンター利用者を繋ぎ、地域住民 + α の地域応援団と共に地域を盛り上げたい

荒町・連坊地区は
活発な地域団体という、
地域をまわすエンジン
が複数あるところ！

ご清聴ありがとうございました